

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	コミュニティ施設整備事業		コード	日生総合支所総務課庶務係
			05-01-02-03	担当者 高見元子
事業実施期間	平成12年度～17年度			
総合計画 事業(政策)体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり		
	中項目	住民主体で進めるまちづくり		
	小項目	コミュニティ		
	施策	コミュニティ活動の推進		
電話	07869-72-1247			

事業について	
目的	良好な生活環境と心豊かな地域づくりを目指し、コミュニティづくりを推進するために施設の建替え整備を図る。
対象(誰のために)	地区住民
内容	老朽化に伴う施設の建替えにあたり、高齢化社会に対応したバリアフリー化した平屋で、かつ地区住民の避難場所として、また地域コミュニティ活動の拠点整備を図った。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
16年度より繰越	2 件
(竹ノ内、中日生会館建替)	
17年度事業(18年度へ繰越)	1 件
(川向会館建替)	
累計整備件数(16年度～21年度まで)	4 件

事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 92,238	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 5,279	受益者負担 12,752	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	市債 69,900	市債	市債		市債	
合計	97,517	一般財源等 14,865	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.55	人
結果指標名	会館累計整備件数	
結果指標量	4	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	97,517	円
単位当たりコスト①		円

結果指標名	会館累計整備件数	
結果指標量	4	
単位	件	
対前年比	—	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	会館整備率	式又は説明	平成21年度までの累計目標が9件となっているので、累計整備数÷9×100とし、整備状況を示す。
成果指標量	17年度 44.44%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	21年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：建築基準法、土地収用法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	過疎計画、新市まちづくり計画に基づき、町内会との調整を図りながら計画の実施に努めた。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	6	結果指標量②	66.66%
目標値	結果指標量		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。